

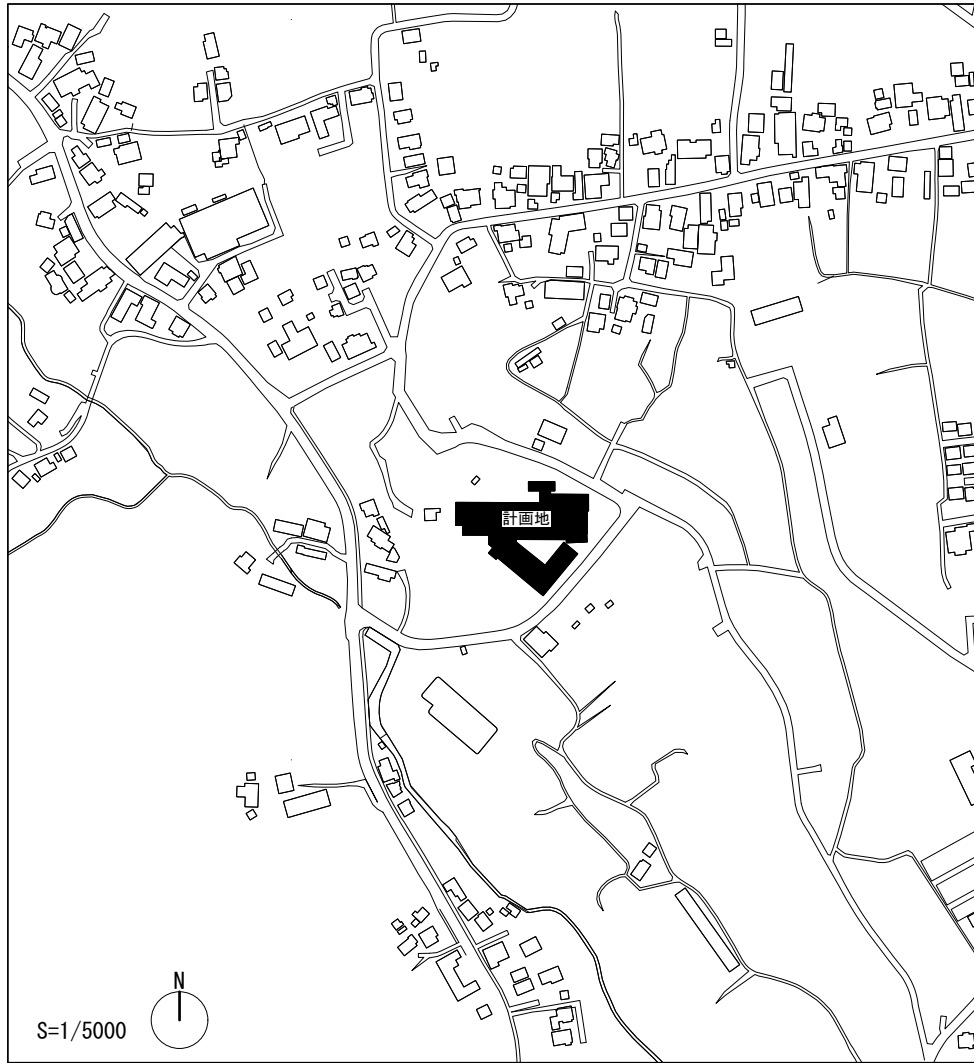
# 神奈川能力開発センター実習棟環境改善工事 (建築工事)

A-01	計画概要書／案内図	-
A-02	平面図	S=1/400
A-03	平面詳細図	S=1/200
A-04	断面詳細図	S=1/100
A-05	天井伏図	S=1/200

一般概要

工事名称	神奈川能力開発センター 実習棟環境改善工事		
建築主	氏名	氏名 職業訓練法人 神奈川能力開発センター	
	住所	住所 〒259-1101 神奈川県伊勢原市日向496	
着工及び竣工年月日	着工	2026年3月初旬	完了 2025年6月下旬予定
敷地の概要	地名地番	神奈川県伊勢原市日向496	
	住居表示	神奈川県伊勢原市日向496	
	用途地域	市街化調整区域	
	防火地域	防火 準防火	指定なし
その他の区域、地区等			
主要用途	学校（耐火建築物）		
工事種別	改修工事		
敷地面積	9348.97 m <sup>2</sup>	坪	
建築面積	3109.74 m <sup>2</sup>	坪	建ぺい率 %
延べ面積	2913.57 m <sup>2</sup>	坪	
駐車場面積	m <sup>2</sup>	坪	
容積対象床面積	m <sup>2</sup>	坪	容積率 %
工事床面積	865.20 m <sup>2</sup>	坪	
階数	地上 1階		
階高・天井高			
基礎形式	独立基礎		
構造種別	鉄骨造		
備考			

案内図



計画概要

本計画は実習室の温熱環境改善を目的として行う。

工事内容 【建築工事】

- ・仕上げ等は既存のままとし、断熱改修は行わない
- ・実習室(2)への調理台・カップボード新設
- ・実習室(2)外部建具の塗装

【機械設備工事】

- ・空調設備設置
- ・換気設備は既存のままとする
- ・シーリングファン設置
- ・実習室(2)へ給排水、ガス設備工事

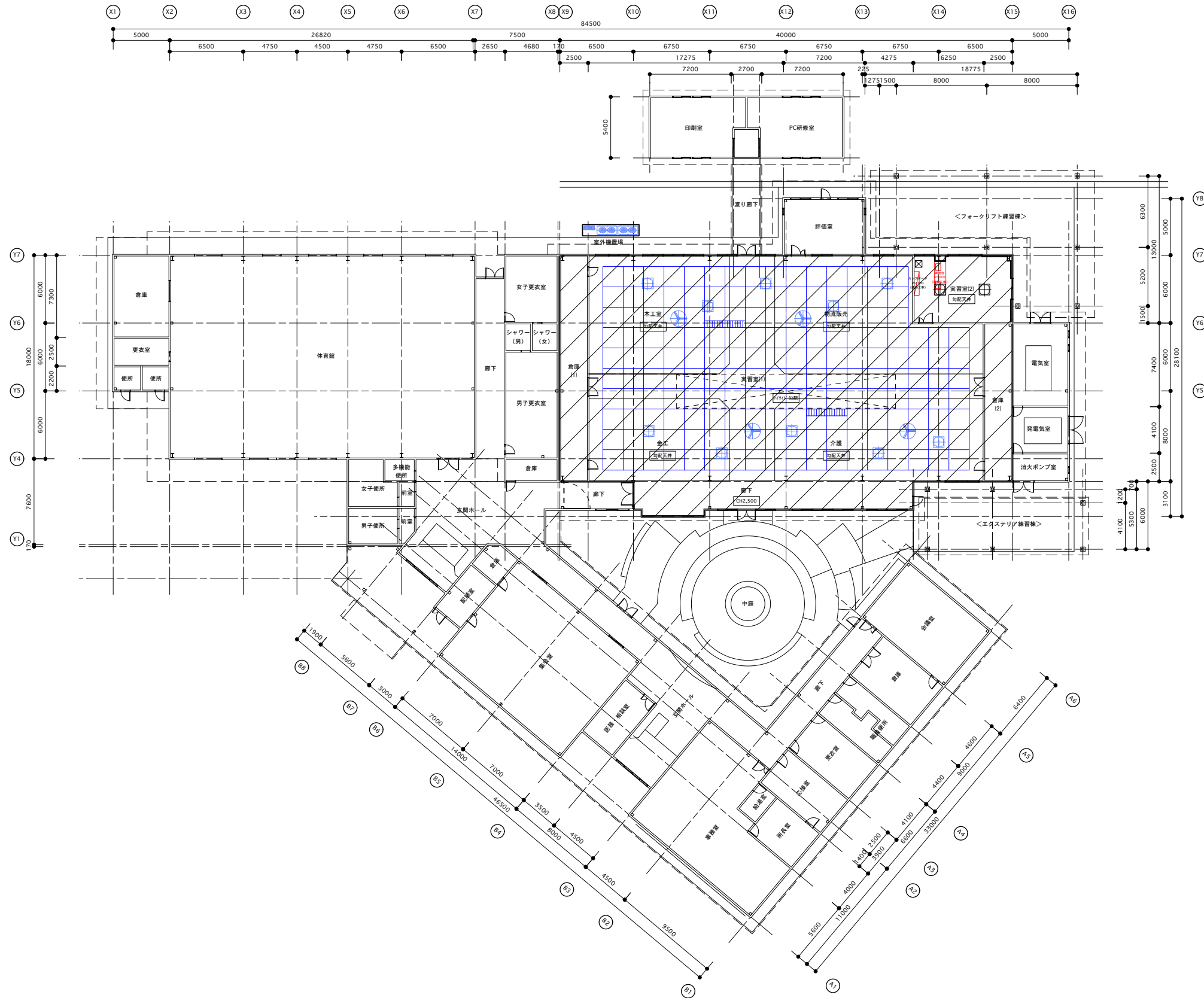
【電気設備工事】

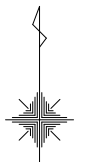
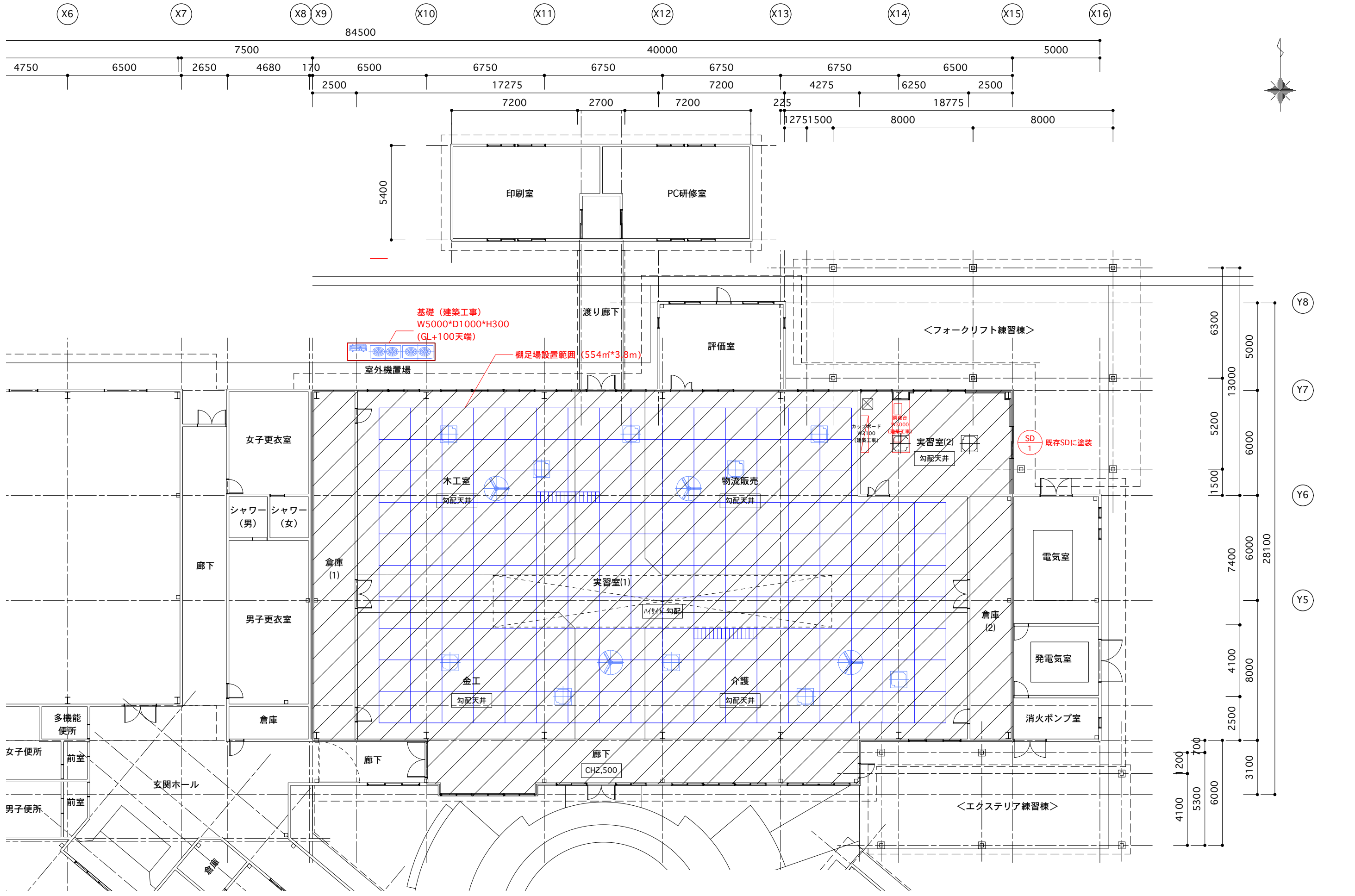
- ・機械設備設置による配線工事
- ・電気容量変更によるキュービクルの改造

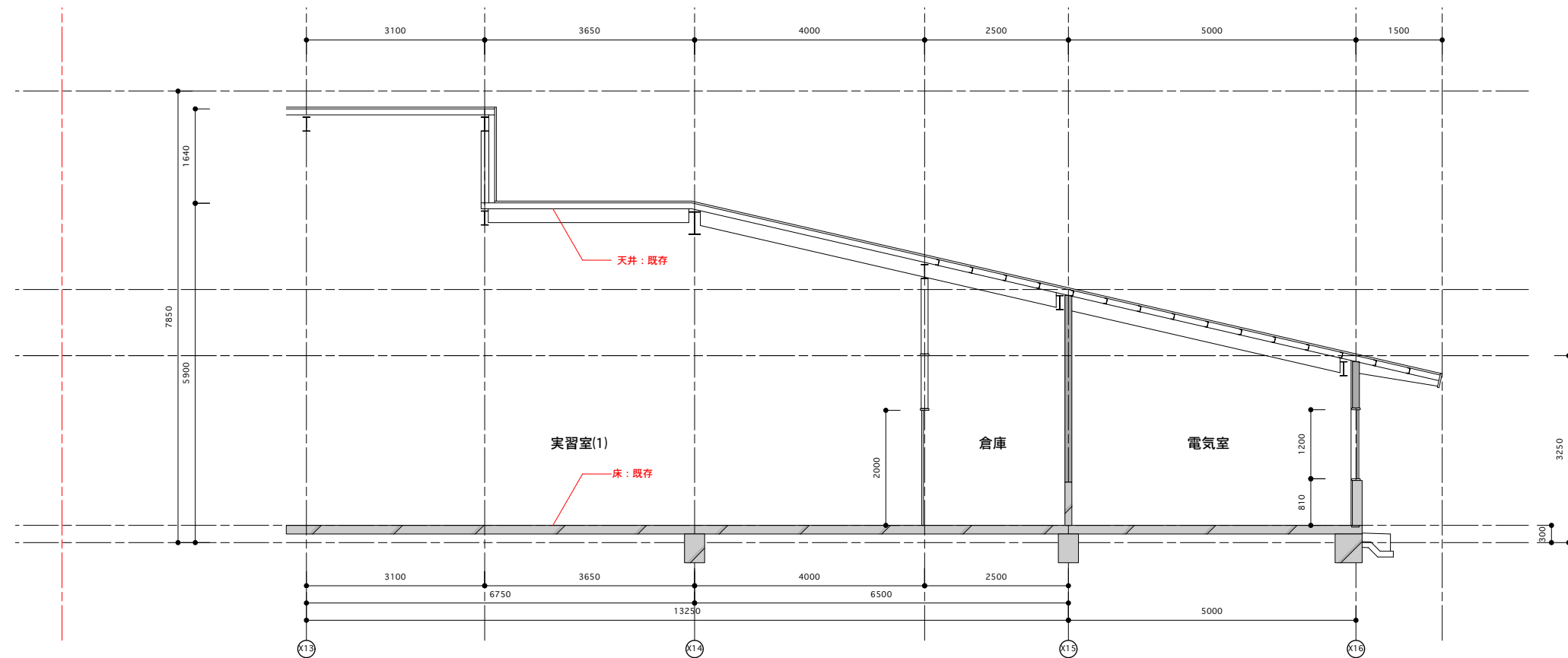
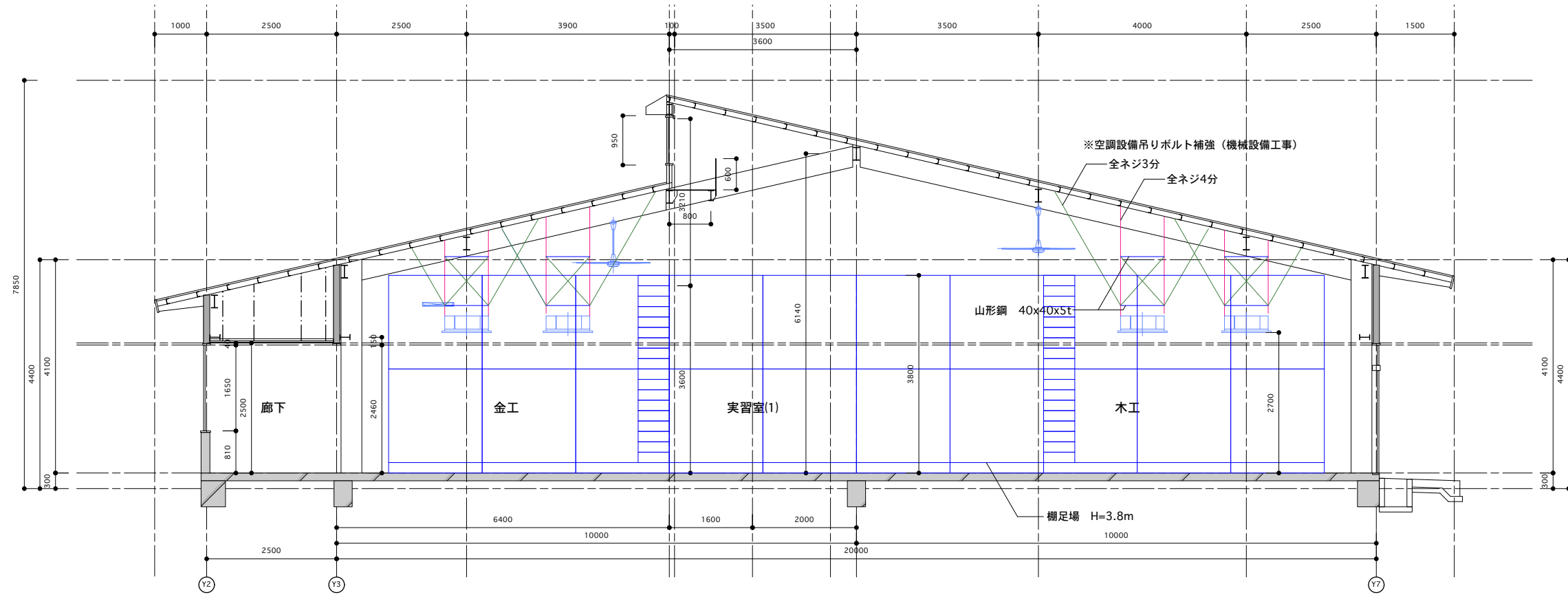
工事備考

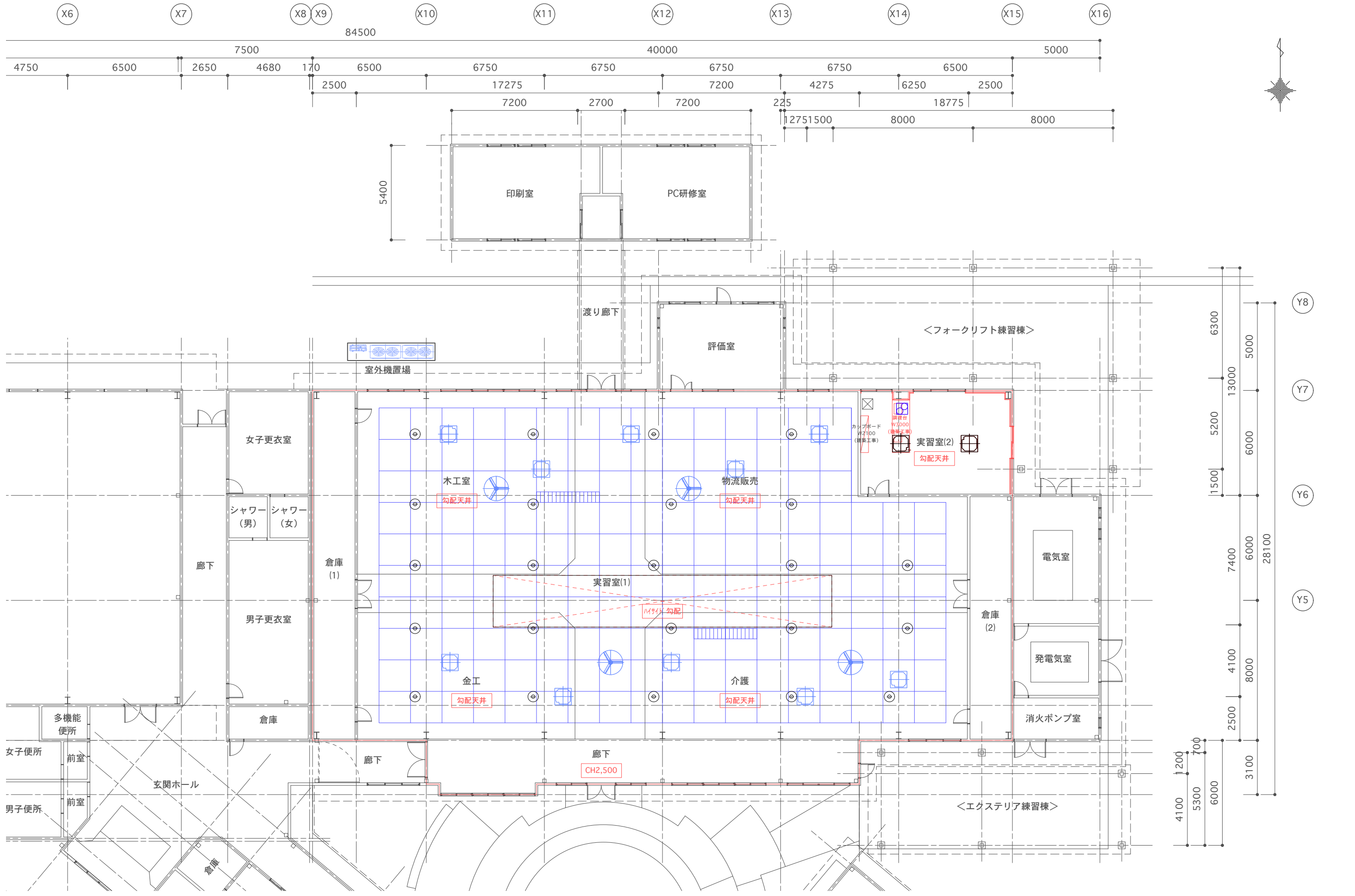
- ・工事は授業時間外もしくは休日を利用し行う。
- ・工事期間中は生徒の安全性に配慮する。
- ・停電が必要な工事（キュービクル切り替え）等は長期休暇期間に行う（ゴールデンウィーク等）（時期や期間については協議の上、決定する）
- ・工事に必要な足場等の仮設費を見込む。
- ・防災設備等の設置に当たって必要な届出は設置業者が行う。（建築については、設計監理者が行う）

- ・工事中の仮設電気及び水道は借用できるものとする。（使用箇所については工事前に協議の上、決定する）（トイレの使用に関しては協議の上、決定する）
- ・工事期間中の駐車場は借用できるものとする。（必要台数及び駐車位置については、工事前に協議の上、決定する）









# 神奈川能力開発センター実習棟環境改善工事 (電気設備工事)

E-01	電気設備工事 特記仕様書	-
E-02	受変電設備 単線結線図 (改修前)	-
E-03	受変電設備 単線結線図 (改修後)	-
E-04	電灯分電盤・動力分電盤 結線図	-
E-05	電気設備 平面図	S=1/200

# 電気設備工事特記仕様書

## 工事概要

1. 工事名称 神奈川能力開発センター実習室環境改善工事
2. 工事場所 神奈川県伊勢原市日向496
3. 建物概要 鉄骨造 地下0階 地上1階 PHO階 延床面積 2913.67㎡  
消防法施行令別表による区分：6項（ロ）
4. 工期 令和8年 月～令和8年 月迄

## 工事項目

- ・ 引込設備工事
- 高圧受変電設備工事（改修）
- ・ 発電機設備工事
- 幹線設備工事
- 動力設備工事
- 電灯コンセント設備工事
- ・ 照明設備工事
- ・ 避雷設備工事
- ・ 電話配管配線設備工事
- ・ 情報配管配線設備工事
- ・ 拡声設備工事
- ・ テレビ共同受信設備工事
- ・ WEBカメラ配管配線設備工事
- ・ インターホン・電気錠設備工事
- ・ 集中検針設備工事
- ・ 機械警備用配管設備工事
- ・ 自動火災報知設備工事
- ・ 撤去工事

## 一般事項

- 1) 本工事は設計図書による他、電気設備の技術基準、内線規程、NTT配管設計基準、及びその他諸官庁関係法規に則り遅滞なく施工する。尚、前記に記載なき事項については、日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS101・102・103）に依るものとする。
- 2) 本工事に関する官公庁等への申請手続等は速やかに行い、これに要する費用は請負者の負担とする。
- 3) 設計図書及び優先順位は下記の通りとする。
  1. 質疑応答書
  2. 現場説明書
  3. 特記仕様書
  4. 設計図
  5. 共通仕様書
- 4) 本設計図に明記なき事項でも機能上及び体裁上当然必要な事項は請負業者がその請負金の範囲内に施工すること。
- 5) 請負業者は速やかに現場代理人を定め、係員と打合せの上、工事の適正円滑な運営を行う。又、現場代理人は安全衛生管理に努め、火災、落下物、電気事故、及びその他の災害防止に努めること。尚、工事従事者は有資格者とする。
- 6) 工事施工に際し、本仕様書、図書に疑義が生じたり、現場の納まり、若しくは他工事との取り合い等で設備機器の位置変更等が生じた場合は係員と協議を行い、その指示により支障なき様施工する。但し、これに要する費用は、請負業者の負担にて行うものとする。
- 7) 請負業者は工事着手前に必要な施工図、工程表、機器類製作図を作成し、係員の承認を受けた後に、工事に着手するものとする。
- 8) 本工事に使用する材料は日本標準規格又は、日本工業規格、その他法令に適合するものとする。
- 9) 請負者は竣工時に、各種試験成績表、各種検査済証、使用許可証、届出書等を係員の指示により提出するものとする。尚、竣工図は竣工後速やかに必要部数を提出する。
- 10) 竣工後、瑕疵期間内に人為的でない工事不良の為に生じた破損、及び故障のあった場合は無償にて速やかに修理交換を行うこと。

## 別途工事

- ・ 電力引込工事負担金及びNTT引込工事負担金
- ・ 近隣テレビ電波障害対策工事及びその調査
- ・ 電話機器及び情報機器類
- ・ WEBカメラ 表示装置他

## 電気設備工事概要

<b>引込設備</b> 1、引込 2、方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 架空</li> <li>○ 地中</li> <li>○ ビット</li> <li>○ 低圧</li> <li>○ 高圧</li> <li>○ 借道</li> <li>○ 自家用</li> <li>○ 単柱</li> <li>○ 壁受</li> </ul>
<b>高圧受変電設備</b> 1、形式 2、設備容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キュービクル型</li> <li>○ 開閉型</li> <li>○ 屋内</li> <li>○ 屋外</li> <li>○ 三相 75KVA×1（既設品再使用） 100KVA×1（改修後）</li> <li>○ 単相 50KVA×1（既設品再使用）</li> </ul>
<b>発電機設備</b> 1、用途 2、形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予備電源</li> <li>○ 非常電源</li> <li>○ 三相 3線 200V 50Hz KVA</li> <li>○ 屋内</li> <li>○ 屋外</li> <li>○ 一般型</li> <li>○ 低騒音型</li> <li>○ dB</li> </ul>
<b>幹線設備</b> 1、電気方式 2、配線方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>電灯 単相 3線 100/200V</li> <li>動力 三相 3線 200V</li> <li>○ ケーブル</li> <li>○ 金属管</li> <li>○ FEP管</li> <li>○ ケーブルラック</li> </ul>
<b>電灯コンセント設備</b> 1、配線器具 2、プレート 3、配線方法 4、点滅方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般型</li> <li>○ 新金属</li> <li>○ ケーブル</li> <li>○ 集中</li> <li>○ ワイド型</li> <li>○ ステンレス</li> <li>○ 金属管</li> <li>○ 個別</li> <li>○ フル2線リモコン</li> <li>○ 樹脂プレート</li> <li>○ 合成樹脂管</li> <li>○ タイマー</li> <li>○ フック付</li> <li>○ PF管</li> <li>○ CD管</li> <li>○ ソーラータイマー</li> </ul>
<b>照明器具設備</b> 1、一般照明 2、防炎照明 3、外部点滅方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ LED</li> <li>○ 非常用照明</li> <li>○ 外部器具の点滅方法：自動点滅器+タイマーによる。</li> <li>○ その他（ ）</li> <li>○ 誘導標識</li> </ul>
<b>電話配管設備</b> 1、局線 2、アウトレット 3、配管 4、屋内線	<ul style="list-style-type: none"> <li>引込（ ）回線</li> <li>○ 壁</li> <li>○ 金属管</li> <li>○ 導入線</li> <li>○ テレホンガイド</li> <li>○ モジュラージャック</li> <li>○ FEP管</li> <li>○ PF管</li> <li>○ CD管</li> <li>○ 実装（端末共）</li> </ul>
<b>情報配管設備</b> 1、通信回線 2、サービス会社 3、配管 4、屋内線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 光</li> <li>○ N T T</li> <li>○ 金属管</li> <li>○ 導入線</li> <li>○ その他（ ）</li> <li>○ その他（ ）</li> <li>○ FEP管</li> <li>○ PF管</li> <li>○ CD管</li> <li>○ 実装（端末共）</li> </ul>
<b>拡声設備</b> 1、方式 2、増幅器 3、配管 4、屋内線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般放送</li> <li>○ 卓上型（ W）</li> <li>○ 金属管</li> <li>○ 導入線</li> <li>○ 非常放送</li> <li>○ 壁掛型（ W）</li> <li>○ FEP管</li> <li>○ PF管</li> <li>○ CD管</li> <li>○ 非常一般放送兼用型</li> <li>○ ラック型（60W）※ワゴン含む</li> <li>○ PF管</li> <li>○ CD管</li> <li>○ 実装（端末共）</li> </ul>
<b>テレビ共同受信設備</b> 1、アンテナ 2、マスト 3、ブースター 4、配線方法 5、障害事前調査 6、障害対策予備配管	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ UHF</li> <li>○ 側面型</li> <li>○ UHF利得</li> <li>○ 一般方式</li> <li>○ 調査済</li> <li>○ 有</li> <li>○ FM</li> <li>○ 自立型</li> <li>○ 35dB以上</li> <li>○ 別途</li> <li>○ 無</li> <li>○ BS・110°CS</li> <li>○ CS</li> <li>○ SUS</li> <li>○ CATV対応</li> </ul>
<b>監視カメラ設備</b> 1、監視カメラ 2、液晶モニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アナログ方式</li> <li>○ インチ</li> <li>○ カラー</li> <li>○ 白黒</li> </ul>
<b>インターホン・電気錠設備</b> 1、形式 2、機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別型</li> <li>○ 非常押入</li> <li>○ モニター付</li> <li>○ 集合型</li> <li>○ ガス漏警報</li> <li>○ 電話機能付</li> <li>○ 電気錠システム</li> <li>○ 火災</li> </ul>
<b>車路管制設備</b> 1、方式 2、表示灯 3、警報 4、付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 赤外線ビーム</li> <li>○ 満車</li> <li>○ 警報</li> <li>○ 在庫表示装置</li> <li>○ 未決定</li> <li>○ 入場制限</li> <li>○ 非常通報</li> <li>○ ループコイル</li> <li>○ 車両走行</li> <li>○ 車両誘導</li> <li>○ 拡声</li> </ul>
<b>自動火災報知設備</b> 1、受信機 2、副受信機 3、感知器 4、機器収容箱 5、付属機器（増設） 運動制御設備 消火器設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ P型1級10回線</li> <li>○ 熱感知器</li> <li>○ 煙感知器</li> <li>○ 専用形（埋込型・露出型）</li> <li>○ 発信機</li> <li>○ 付帯機器（増設）</li> <li>○ 防火扉</li> <li>○ 粉末ABC10形</li> <li>○ スタンド付</li> <li>○ 埋込型</li> <li>○ 差動式</li> <li>○ 分布式</li> <li>○ 定温式</li> <li>○ 煙感知器</li> <li>○ 非蓄積</li> <li>○ 表示灯</li> <li>○ 音声警報用スピーカー</li> <li>○ シャッター</li> <li>○ その他</li> <li>○ 格納箱</li> <li>○ 消火器ボックス（建築工事）</li> <li>○ 壁掛型</li> <li>○ 自立型</li> <li>○ 光電式</li> <li>○ 蓄積</li> <li>○ 屋内消火栓組込</li> <li>○ 電鈴</li> <li>○ 表示灯一体型発信機</li> </ul>

<b>避雷針設備</b> 1、方式 2、避雷導線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 突針</li> <li>○ 鋼まじり線</li> <li>○ 棟上導体</li> <li>○ 鋼体</li> <li>○ 鉄筋</li> <li>○ 鉄骨</li> </ul>
<b>警備保障配管設備</b> 1、契約会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定有り</li> <li>○ 未決定</li> </ul>
<b>太陽光発電設備</b> 1、太陽光パネル 2、パワーコンディショナ 3、蓄電池 4、系統連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公称出力（ KW）</li> <li>○ 単相3線式（ KW）</li> <li>○ 有（ KW/h）</li> <li>○ 有</li> <li>○ 三相3線式（ KW）</li> <li>○ 無</li> <li>○ 無</li> <li>○ 無</li> </ul>

## 諸官庁リスト

諸官庁名	部署(担当者)	T	E	L	備考
伊勢原消防署	予防係				
東京電力パワーグリッド					
NTT東日本					

## 工事区分

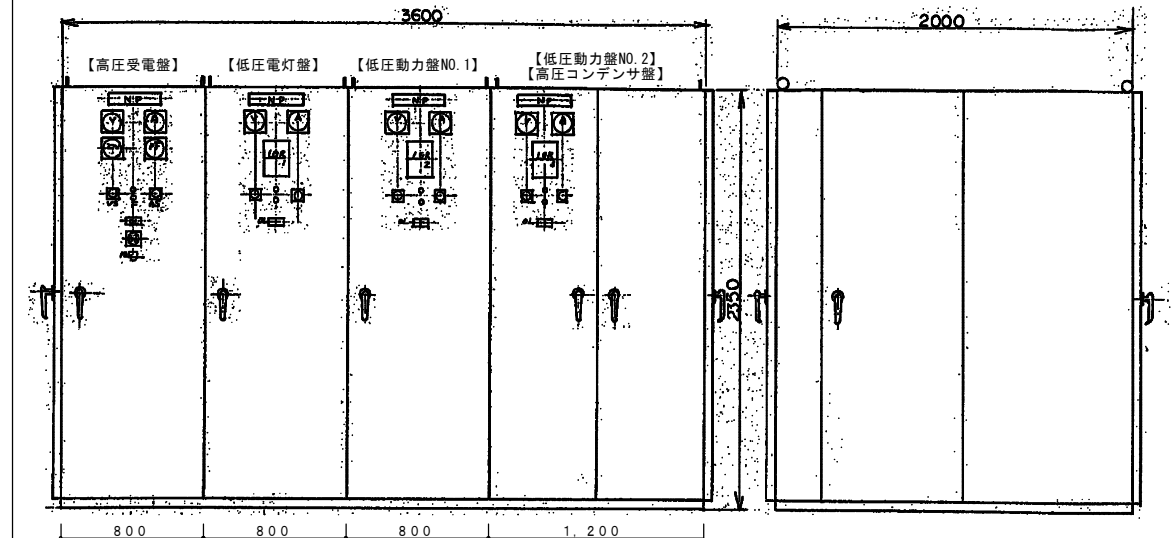
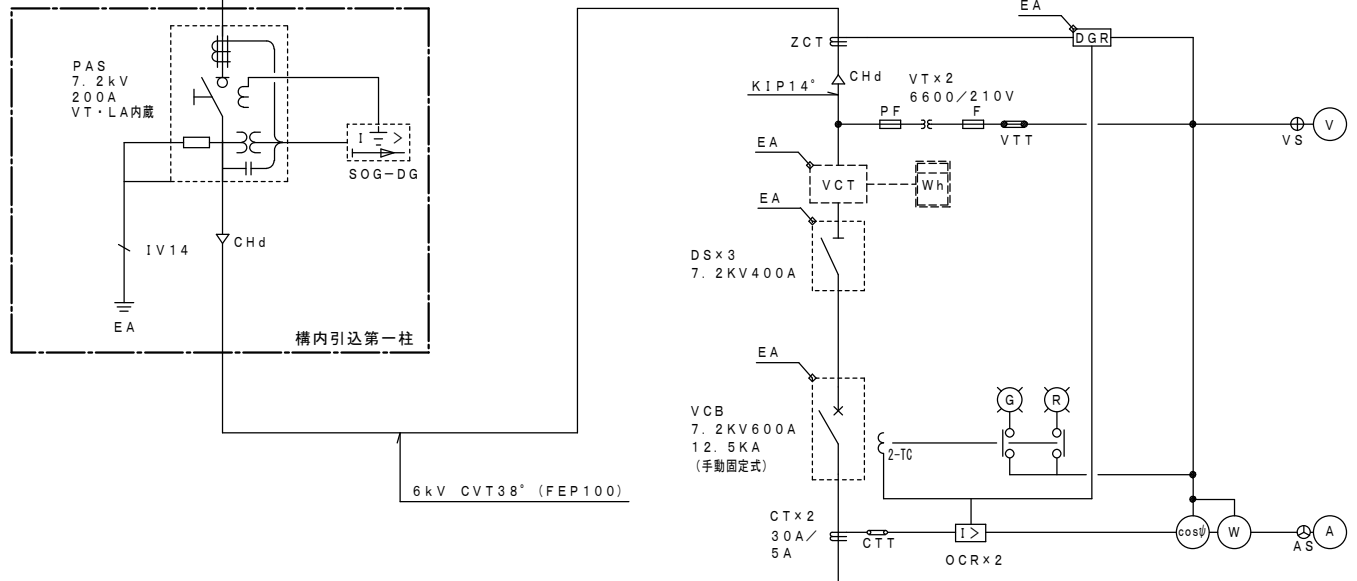
項目	電気	機械	建築
・ 点検口	天井改口、パイプシャフト改口の製作及び取付工事 大きき及び位置の指示		
・ 基礎工事	屋外、屋上キュービクル基礎 自立壁コンクリート基礎 自立形避雷針及び自立形テレビアンテナ基礎 屋外灯ポールコンクリート基礎 鉄筋コンクリート部のスリーブ及び箱入等		
・ スリーブ等	鉄骨部の貫通スリーブ 補強 補修（コーキングも含む） 貫通部大きき及び位置の指示		
・ 切り込み及び補強	埋込型照明器具、スピーカー、感知器等取付けのための枠組補強 埋込型照明器具、スピーカー、感知器等取付けのための切り込み 盤類及びボックス類取付けのための切り込み 全上 躯体補強 大きき及び位置の指示		
・ ビット築造工事	変電室の配線ビット及び蓋取付工事 上記大きき及び位置の指示		
・ 電動シャッター ・ 自動扉	制御盤供給及び取付工事 一次側電源供給 二次側配管		
・ 電極棒及び保持器 ・ フロートスイッチ	各水槽への供給及び取付工事 配管配線工事 位置及び水位の指示		
・ 防火戸・防火シャッター ・ 運動設備	防火戸の自動閉鎖装置の取付 防火シャッター用自動閉鎖装置の取付 全上 制御盤、感知器取付及び配管配線		
・ 圧力器	エレベーター・機械室等プラグ取付		

## 特記事項

- 1) 本工事に使用する電線は、特記の無い限り、一般電線・一般ケーブルとし、相別に色分けし、接地線には緑色を使用すること。
- 2) 防火区画を貫通する配線・配管には全て耐火処理を施すこと。
- 3) 空配管には、呼び線としてビニール被覆鉄線1.2mmを挿入すること。

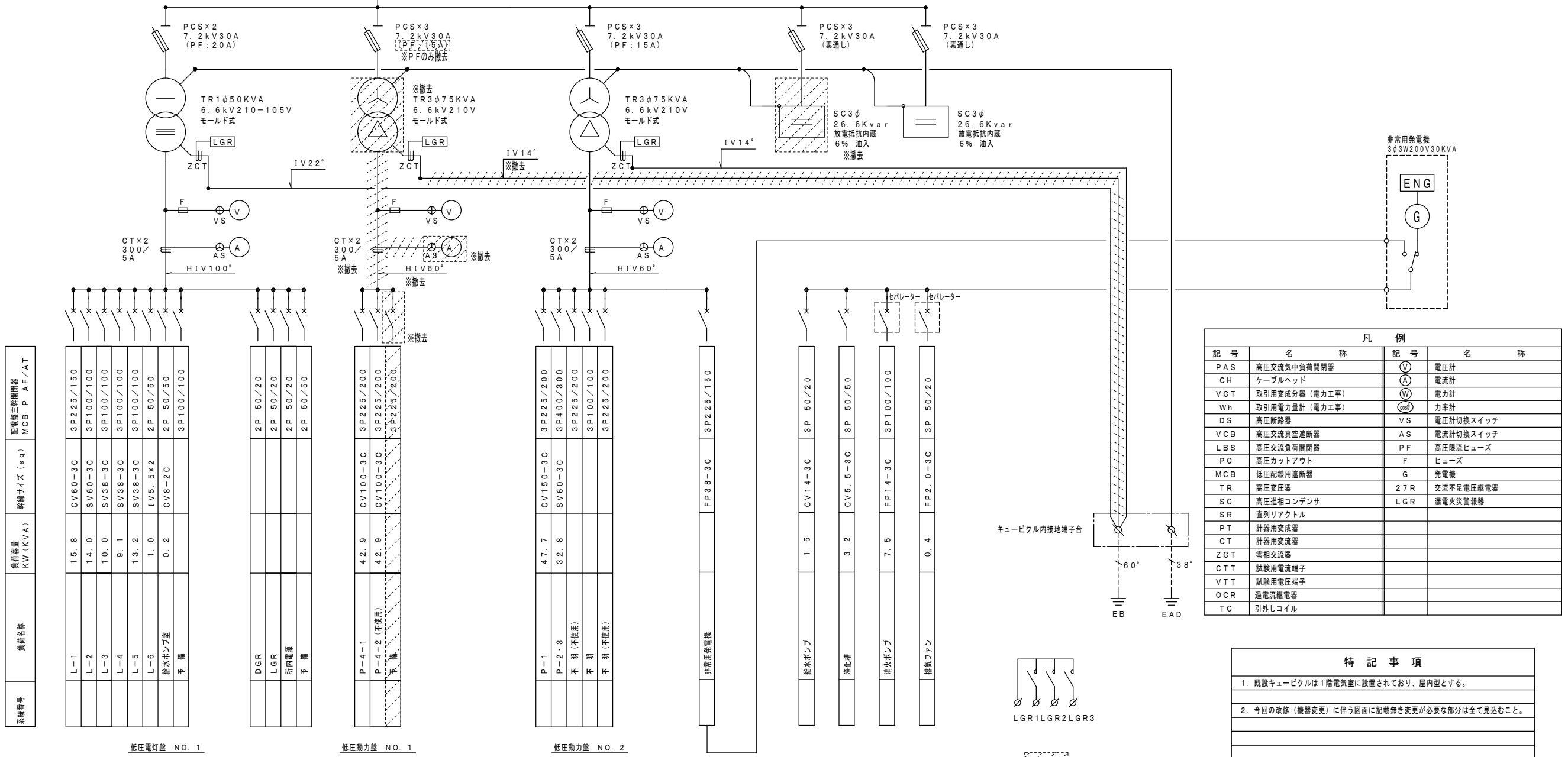
## 標準凡例

記号	名称	記号	名称
(盤類)		(避雷針)	
電灯分電盤		避雷突針	
動力制御盤		接地抵抗測定用端子	
警報盤		接地端子箱	
電灯動力盤		(電話)	
配電盤(防災電源回路用)		MDF	MDF盤
(機器類)			
メーター収納箱			
電動機(機械設備工事)			
フロートレススイッチ電極			
換気扇(機械設備工事)			
非常用コンセント盤			
(照明器具)			
非常照明 白熱灯(バッテリー内蔵)			
非常照明 蛍光灯(バッテリー内蔵)			
誘導灯			
誘導灯(非常照明兼用)			
ダウンライト			
蛍光灯(直管形LED含む)			
ブラケットライト			
引線シーリング フック付			
街路灯			
(コンセント、スイッチ類)		(テレビ共聴)	
埋込コンセント 2P15A×1		直列ユニット(中間)	
埋込コンセント 2P15A×2		直列ユニット(端末)	
埋込コンセント 2P15A×1 接地端子付		(配管配線)	
埋込コンセント 2P15A×2 接地端子付			
埋込コンセント 2P15A×1 接地極付			
埋込コンセント 2P15A×2 接地極付			
フロアコンセント 2P15A×2 接地極付			
防水コンセント 2P15A×2 接地極付			
埋込スイッチ 1P15A×1			
埋込スイッチ 1P15A×1 パイロット付			
埋込スイッチ 3W15A×1			
埋込スイッチ 4W15A×1			
調光器			
リモコンスイッチ 調光数は傍記			
熱線センサースイッチ			
自動点滅器			



※既存納入品は上図の反転にて設置されている。

屋内キュービクル (既設) 参考姿図



系統番号	負荷名称	負荷容量 KW (KVA)	幹線サイズ (sq)	配線盤主幹開閉器 MCB P-AF/AT
L-1	予備	15.8	CV60-3C	3P225/150
L-2	予備	14.0	SV60-3C	3P100/100
L-3	予備	10.0	SV38-3C	3P100/100
L-4	予備	9.1	SV38-3C	3P100/100
L-5	予備	13.2	SV38-3C	3P100/100
L-6	緑水ポンプ室	1.0	IV5-5x2	2P 50/50
	予備	0.2	CV8-2C	2P 50/50
	予備			3P100/100
	DGR		2P 50/20	
	LGR		2P 50/20	
	所内電器		2P 50/20	
	予備		2P 50/50	
P-4-1	不明	42.9	CV100-3C	3P225/200
P-4-2	不明 (不使用)	42.9	CV100-3C	3P225/200
	不明			3P225/200
P-1	不明	47.7	CV150-3C	3P225/200
P-2-3	不明 (不使用)	32.8	SV60-3C	3P400/300
	不明			3P225/200
	不明 (不使用)			3P100/100
	不明 (不使用)			3P225/200
	非常用発電機		FP38-3C	3P225/150
	給水ポンプ	1.5	CV14-3C	3P 50/20
	浄化槽	3.2	CV5-5-3C	3P 50/50
	消火ポンプ	7.5	FP14-3C	3P100/100
	排気ファン	0.4	FP2-0-3C	3P 50/20

低圧電灯室 NO. 1

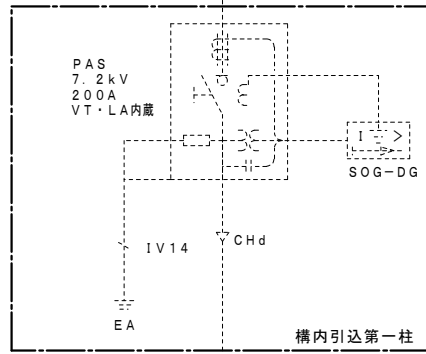
低圧動力室 NO. 1

低圧動力室 NO. 2

屋内キュービクル (改修前) 単線結線図

凡 例			
記号	名称	記号	名称
PAS	高圧交流気中負荷開閉器	V	電圧計
CH	ケーブルヘッド	A	電流計
VCT	取引用変成分器 (電力工事)	W	電力計
Wh	取引用電力量計 (電力工事)	cosφ	力率計
DS	高圧断路器	VS	電圧計切換スイッチ
VCB	高圧交流真空遮断器	AS	電流計切換スイッチ
LBS	高圧交流負荷開閉器	PF	高圧限流ヒューズ
PC	高圧カットアウト	F	ヒューズ
MCB	低圧配線用遮断器	G	発電機
TR	高圧変圧器	27R	交流不足電圧継電器
SC	高圧連相コンデンサ	LGR	漏電火災警報器
SR	直列リアクトル		
PT	計器用変成器		
CT	計器用変流器		
ZCT	零相交流器		
CTT	試験用電流端子		
VTT	試験用電圧端子		
OCR	過電流継電器		
TC	引外レコイル		

特 記 事 項	
1.	既設キュービクルは1階電気室に設置されており、屋内型とする。
2.	今回の改修 (機器変更) に伴う図面に記載無き変更が必要な部分は全て見込むこと。



6kV CVT38\* (FEP100)

系統番号	負荷名称	負荷容量 KW (KVA)	幹線サイズ (sq)	配線盤主幹開閉器 MCB P-AF/AT
L-1		15.8	CV60-3C	3P225/150
L-2		14.0	SV60-3C	3P100/100
L-3		10.0	SV38-3C	3P100/100
L-4		9.1	SV38-3C	3P100/100
L-5		13.2	SV38-3C	3P100/100
L-6		1.0	IV5.5x2	2P.50/50
	給水ポンプ室	0.2	CV8-2C	2P.50/50
	予備			3P100/100
L-A		3.0	CV5.5-3C	3P.50/50

低圧電灯盤 NO. 1

DGR				2P.50/20
LGR				2P.50/20
所内電源				2P.50/20
予備				2P.50/50

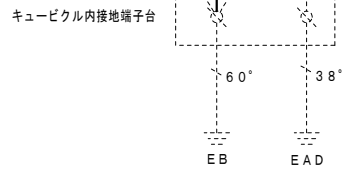
低圧動力盤 NO. 1

P-4-1		42.9	CV100-3C	3P225/200
P-4-2 (不使用)			CV100-3C	3P225/200
OP-A		51.7	CVT100	3P225/225

低圧動力盤 NO. 2

P-1		47.7	CV150-3C	3P225/200
P-2,3		32.8	SV60-3C	3P400/300
不明 (不使用)				3P225/200
不明 (不使用)				3P100/100
不明 (不使用)				3P225/200
非常用発電機			FP38-3C	3P225/150

給水ポンプ		1.5	CV14-3C	3P.50/20
浄化槽		3.2	CV5.5-3C	3P.50/50
消火ポンプ		7.5	FP14-3C	3P100/100
排気ファン		0.4	FP2.0-3C	3P.50/20



LGR1LGR2LGR3

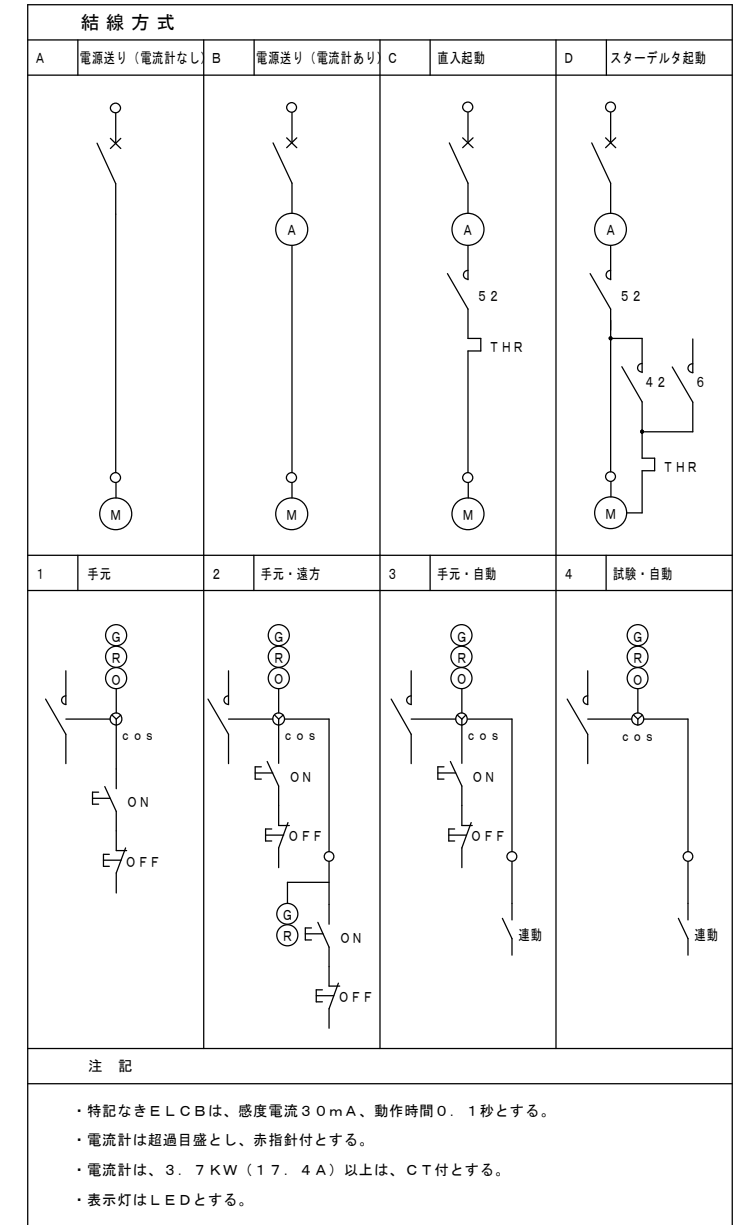
屋内キュービクル (改修後) 単線結線図

凡例			
記号	名称	記号	名称
PAS	高圧交流真空中負荷開閉器	V	電圧計
CH	ケーブルヘッド	A	電流計
VCT	取引用変成分器 (電力工事)	W	電力計
Wh	取引用電力量計 (電力工事)	cosφ	力率計
DS	高圧断路器	VS	電圧計切替スイッチ
VCB	高圧交流真空遮断器	AS	電流計切替スイッチ
LBS	高圧交流負荷開閉器	PF	高圧限流ヒューズ
PC	高圧カットアウト	F	ヒューズ
MCB	低圧配線用遮断器	G	発電機
TR	高圧変圧器	2.7R	交流不足電圧検電器
SC	高圧進相コンデンサ	LGR	漏電火災警報器
SR	直列リアクトル		
PT	計器用変成器		
CT	計器用変流器		
ZCT	零相変流器		
CTT	試験用電圧端子		
VTT	試験用電圧端子		
OCR	過電流継電器		
TC	引外しコイル		

特記事項	
1.	既設キュービクルは1階電気室に設置されており、屋内型とする。
2.	今回の改修 (機器変更) に伴う図面に記載無き変更が必要な部分は全て見込むこと。
3.	変圧器は2026年度に改修工事を実施するものとし第3次トップランナー基準 (2026年基準) に適合したモード (乾式) 変圧器に変更とする。
4.	設計時点で第3次トップランナー基準の変圧器寸法はメーカーにて明確になっていないため、着工時に速やかに現地調査を行い納まり等の確認を行うこと。
5.	停電期間が限られるため、停電作業日数及び停電日は係員と相談の上、決定すること。
6.	図中の実線標記は全て新設 (更新) とする。また細線標記は既存再使用とする。

動力分電盤結線図

分電盤名称、電気方式、幹線サイズ、主幹開閉器等	負荷名称	回路番号	負荷容量 (KW)	分岐開閉器容量	制御方式				遠方操作・表示				備考		
					結線方式	表示			インロック	連動	発停	表示			
						運転	停止	故障				運転		停止	故障
<b>OP-A</b> 屋外鋼板製 壁掛型 3φ3W 200V 主開閉器 MCCB3P225AF 225AT 負荷容量 51.73KW	空調機 EHP-1	①	22.20	ELCB 3P100/100	A										
	空調機 EHP-2	②	22.20	ELCB 3P100/100	A										
	空調機 EHP-3	③	7.33	ELCB 3P 50/40	A										
	予備	④		ELCB 3P 50/30											



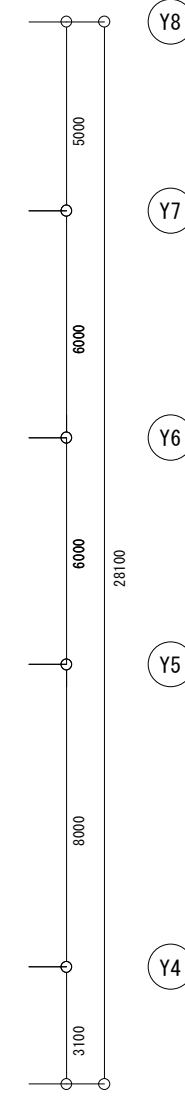
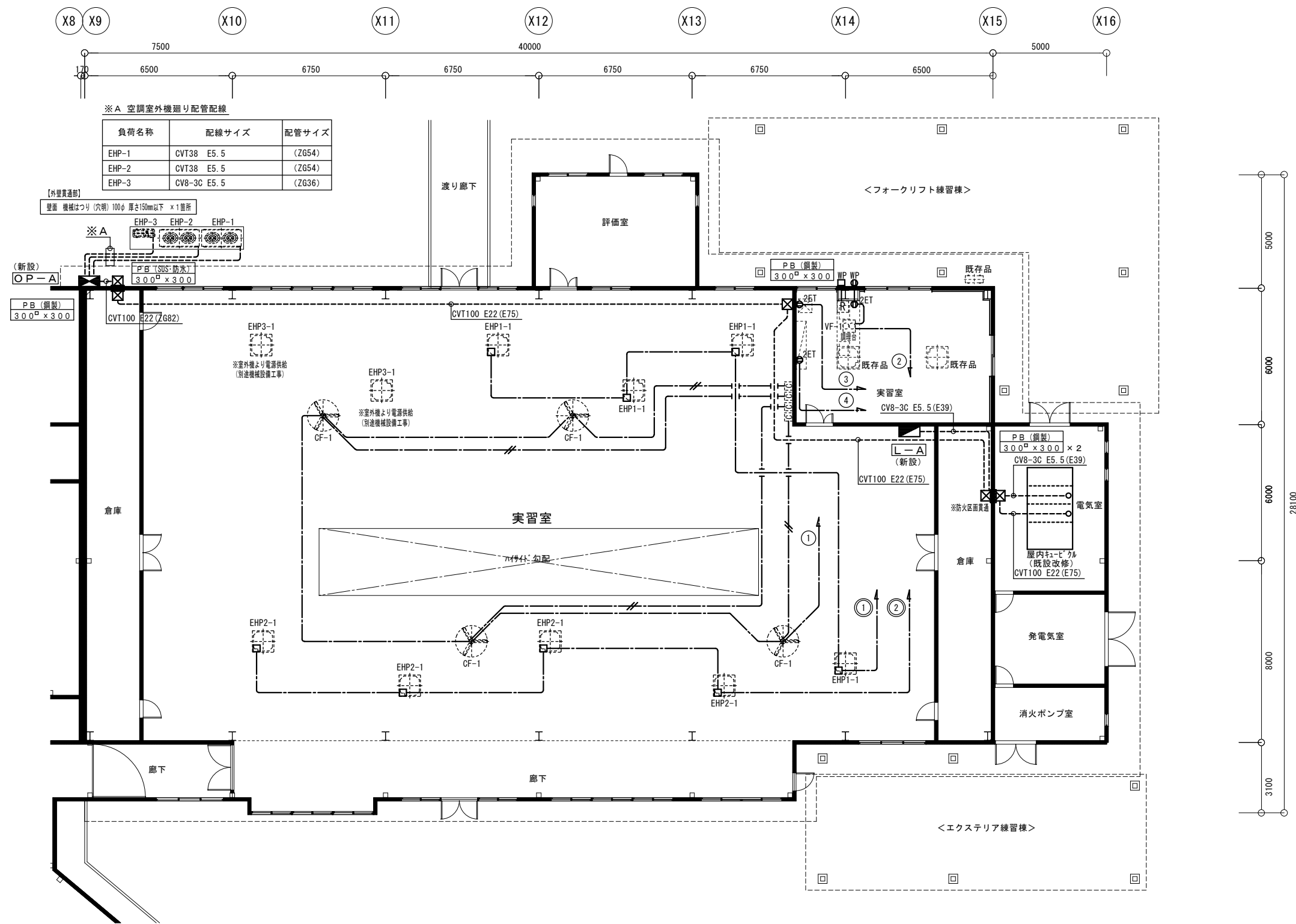
電灯分電盤結線図

分電盤名称、電気方式、幹線サイズ、主幹開閉器等	回路番号	分岐開閉器容量	リモコン等	負荷容量	負荷名称	備考
<b>L-A</b> 屋内鋼板製 壁掛型 AC 1φ3W 210V-105V 主開閉器 MCCB3P50AF 50AT 負荷容量 4.640VA	①	ELCB 2P50/20		828	空調室内機 EHP-1系統	
	②	ELCB 2P50/20		828	空調室内機 EHP-2系統	
	①	MCCB 2P50/20		188	実習室シーリングファン	
	②	ELCB 2P50/20		400	調理実習室コンセント (ガス給湯器)	
	③	ELCB 2P50/20		1200	調理実習室 冷蔵庫コンセント	
	④	ELCB 2P50/20		1200	調理実習室 食器棚コンセント	
	⑤	MCCB 2P50/20			予備	
	⑥	MCCB 2P50/20			予備	
	⑦	MCCB 2P50/20			予備	
	⑧	MCCB 2P50/20			予備	
	⑨	MCCB 2P50/20			予備	
⑩	MCCB 2P50/20			予備		

n 200V回路  
n 100V回路

凡例		
記号	名称	仕様
	電灯分電盤	※ 分電盤結線図参照
	動力分電盤	※ 分電盤結線図参照
	埋込コンセント (新金属プレート)	2P15A×2 接地端子付
	防水コンセント	2P15A×3 接地端子付
	換気扇類コントロールスイッチ	※ 支給品取付
	ガス給湯器用リモコン	※ 別途 機械設備工事
	防雨入線カバー	
	ジョイントボックス	O. B ブランクカバー付
	プルボックス	※ 平面図参照
	天井隠蔽配管配線	
	ケーブルこごし配線	
	床隠蔽 (埋込) 配管配線	
	露出配管配線	

注記		
1. 特記なき配線は下記による。		
	VVF1.6-2C	保護管 (E19)
	VVF2.0-3C	保護管 (E25)
	リモコンケーブル (機械設備支給品)	(PF16)
2. ケーブルの立上げ及び引下げは適合する電線管で保護すること。		
3. 特記なき天井部のケーブル配線は露出こごし配線とする。		



# 神奈川能力開発センター実習棟環境改善工事 (機械設備工事)

M-01	機械設備 機器表-1	-
M-02	機械設備 機器表-2	-
M-03	機械設備 機器表-3	-
M-04	空気調和設備 平面図	S=1/200
M-05	衛生設備 平面図	S=1/50

衛生設備 機器表

機番	機器名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			相 ( )	電圧 (V)	消費電力 (w)			
GWH - 1	ガス給湯器 (潜熱回収型)	仕様: 屋外壁掛型 ガス給湯器 16号 (単独設置) ガス種別: 13A 能力: 出湯能力:水温+25・16L/min 水温+40・10L/min、40 出湯 (消費電力:AC-100:30W、凍結防止ヒーター:146W、ガス消費量:29.4kW) 付属品: ガス給湯器・ガス配管・フレキシブル管、リコネクト、配管カバー、上方排気カバー、標準付属品一式	1	100	30+146	1	1F 北側外部	GQ-1634WZ-C (NORITZ)
<p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給排水設備の設置及び構造について令129条の2の4に適合すること。</li> <li>機器、器具はJISおよびPSEで定めた基準を満たす製品を用いること。</li> <li>機器、器具の型番は参考とし、同等品を用いること。</li> <li>ガス給湯器の出湯能力・定格消費電力及び表示ガス消費量はJIS S 2109で規定された値とする。</li> <li>取付けに必要な下地工事等は本工事とする。</li> <li>ガス給湯器、電気温水器の固定は、平成24年国土交通省告示第1447号に適合する転用防止対策を講じること。</li> <li>機器類および配管・ダクトの支持は「B種耐震支持」をおこなうこととする。</li> <li>ガス給湯器は先止め式とする。</li> </ul>								

衛生設備 器具表

名称	型番	付属品等	1F			合計	備考
			実習室 (実習室)				
シングルレバー混合水栓	TKS05308JA	浄水ハンドシャワー付、予備カートリッジ1個付属	1			1	
<p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給排水設備の設置及び構造について令129条の2の4に適合すること。</li> <li>機器、器具はJISおよびPSEで定めた基準を満たす製品を用いること。</li> <li>機器、器具の型番は参考とし、同等品を用いること。</li> <li>機器類および配管・ダクトの支持は「B種耐震支持」をおこなうこととする。</li> <li>混合栓は節湯水栓とする。</li> </ul>							

空調設備 機器表

機番	機器名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考 (参考型番)		
			相 ( )	電圧 (V)	消費電力 冷房定格 (kW)				暖房定格 (kW)	最大暖房低 温 (kW)
EHP-1	室外機 (マルチ)	仕様: 空冷ヒートポンプパッケージエアコン(R32)	3	200	15.7	19.1	22.2	1	1F 北側外部	(外)RXYA560A
		能力: (冷房) 56 kw、(暖房) 63 kw								コンクリート基礎(建築工事)
		(圧縮機) 17 kw、(外機ファン) 0.72 x 2 w								(5,000 x 1,000 x 300h)
		(質量) 334 kg								
		付属品: アクティブフィルター、防振パッド、転倒防止金具、標準付属品一式								
EHP-1-1	室内機	仕様: 4方向天井カセット型 パッケージエアコン	3	200	0.217	0.207	-	4	1F 実習室	(内)FXFYA160AA
		能力: (冷房) 16.0 kw、(暖房) 18.0 kw								
		(内機ファン) 106 w								
		付属品: エコパネル、防振吊金物、リモコン、ロングライフフィルター標準付属品一式								
EHP-2	室外機 (マルチ)	仕様: 空冷ヒートポンプパッケージエアコン(R32)	3	200	15.7	19.1	22.2	1	1F 北側外部	(外)RXYA560A
		能力: (冷房) 56 kw、(暖房) 63 kw								(EHP-1基礎へ設置)
		(圧縮機) 17 kw、(外機ファン) 0.72 x 2 w								
		(質量) 334 kg								
		付属品: アクティブフィルター、防振パッド、転倒防止金具、標準付属品一式								
EHP-2-1	室内機	仕様: 4方向天井カセット型 パッケージエアコン	3	200	0.217	0.207	-	4	1F 実習室	(内)FXFYA160AA
		能力: (冷房) 16.0 kw、(暖房) 18.0 kw								
		(内機ファン) 106 w								
		付属品: 防振吊金物、リモコン、ロングライフフィルター標準付属品一式								
EHP-3	室外機 (同時ツイン)	仕様: 同時ツイン 空冷ヒートポンプパッケージエアコン(R32)	3	200	5.55	5.53	7.33	1	1F 北側外部	(Set)SSRC224CD
		能力: (冷房) 20.0 kw、(暖房) 22.4 kw								(外)RSRP224C
		(圧縮機) 4.52 kw、(外機ファン) (227+227) x 1 w								(EHP-1基礎へ設置)
		(質量) 123 kg								
		付属品: 防振架台、転倒防止金具、標準付属品一式								
EHP-3-1	室内機	仕様: 4方向天井カセット形 パッケージエアコン	3	200	(上記を含む)		-	1組	1F 実習室(木工)	
		能力: (冷房) 10 kw、(暖房) 11.2 kw								(内)FHCP112FC (x 2)
		(内機ファン) 106 w/台								
		(質量) 25 kg/台								
		付属品: 防振吊金物、リモコン、ロングライフフィルター標準付属品一式								

注意事項

- ・ 冷房能力はJIS B 8616(2015)に準拠した製品とする。(室内側: 27 DB、19 WB、外気温度35 DB)
- ・ 暖房能力はJIS B 8616(2015)に準拠した製品とする。(室内側: 20 DB、7 WB、外気温度6 DB)
- ・ 暖房低温能力はJRA4002による条件に準拠した製品とする。(室内側: 20 DB、外気温度2 DB、1 WB)
- ・ 機器、器具はJISおよびPSEで定めた基準を満たす製品を用いること。
- ・ 空調室外機のコンクリート基礎は本工事とし、転倒防止措置と防水処置を本工事とする。
- ・ 室内機のフィルターは高性能フィルターとし、予備フィルターを50%見込む事とする。
- ・ 新冷媒(R32)遮断弁設備は、メーカー確認のうえ無しとする。
- ・ 機器類および配管・ダクトの支持は「B種耐震支持」をおこなうこととする。
- ・ 室外機はメーカー仕様に基づき、転倒防止金具を取り付けること。
- ・ 室内機は耐震振止め及び防振金具を取り付けること。
- ・ 冷媒管が露出する場合は樹脂製化粧仕上げとすること。(機器接続部はテープ仕上)
- ・ 室外機置場の冷媒管は銅製化粧カバー(RDダクトなど)で化粧を行うこと。
- ・ 室内機はドレンポンプ付とする。

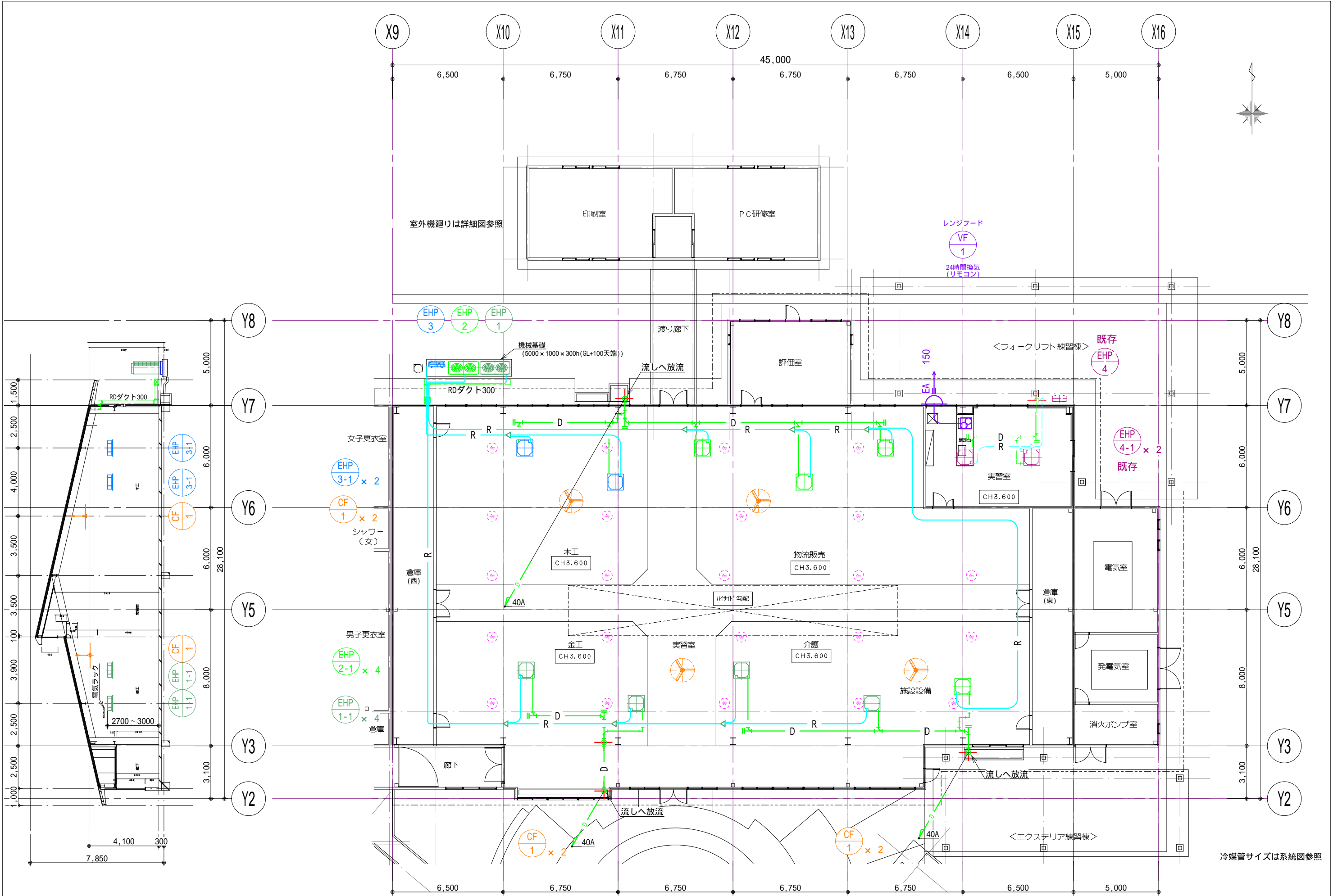
180W/m2

計  
計

相 ( )	電圧 (V)	消費電力		
		冷房定格 (kW)	暖房定格 (kW)	最大 (kW)
3	200	37.0	43.7	51.7
1	200	1.7	1.7	-

換気設備 機器表

機番	機器名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			相 ( )	電圧 (V)	消費電力 定格(W)			
VF-1	レンジフード	仕様: 24時間換気機能付 標準タイプレンジフード 能力: 150 x 210 CMH x 60 Pa 付属品: アルミ製深型ベンドキャップ(指定色)、防振吊具、その他標準付属品一式	1	100	79	1	1F 実習室(実習室)	V-604KD8
CL-1	シーリングファン	仕様: シーリングファン( 1400) 能力: 1400 付属品: 速度調節器、その他標準付属品一式	1	100	47	4	1F 実習室	C140-YB(-BK)
<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器仕様は、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)による。</li> <li>機器の吊込み、固定は「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」及びメーカー推奨を基に施工する事。</li> <li>機器類および配管・ダクトの支持は「B種耐震支持」をおこなうこととする。</li> <li>機器、器具はJISおよびPSEで定めた基準を満たす製品を用いること。</li> <li>ベンドキャップ、ウェザーカバーは全て指定色焼付塗装とする。</li> <li>排気用のベンドキャップ、ウェザーカバーは防鳥網またはガラリ付きとする。</li> </ul>								



冷媒管サイズは系統図参照

